

がわしま



議会だより

12月定例会

No.91

平成23年 2月21日

12月定例会審議結果

新年のあいさつ

委員会のうごき

一般質問 町の考えを問う



伊草地区歩け走ろう大会

地域の活性化を目指して



議長 鈴木久雄
すずき ひさお

新年あけましておめでとうござい
ます。

昨年の猛暑に続き、今年の冬では
日本海側を中心に厳しい寒さと記録
的な大雪に見舞われております。川
島町でも昨年の猛暑により、県の特
産米でもある「彩のかがやき」など
に大きな被害をもたらしました。

社会情勢においても長年にわたる
景気低迷による不況やデフレの傾向
の中で雇用不安が広がっています。

そういった中で、川島町では圏央
道インターチェンジの開通と共に開
発が始まりました川島インター産業
団地が操業を始めています。この産
業団地では町内外から多くの就労者
を受け入れ地域経済の活性化につな
がると期待されています。

また、地域から全国へと目を向け
てみますと、昨年末から続く児童養
護施設へのランドセルや文房具、寄
付金などを贈る「タイガーマスク運
動」は特に注目される出来事です。
近年では近所付き合いも希薄になり

つつある中、見ず知らずの子どもた
ちのために私財を投げ打ち支援をさ
れている方々には深く尊敬の念を抱
くばかりです。埼玉県内でも、小学
6年生の児童が自分たちのお小遣い
の中から寄附を行うなど広がりを見
せております。

新年早々、多くの方の善意の行動に
より心が温かくなる思いです。

川島町議会では、町の将来を考え
「町民に開かれた議会、わかりやす
い議会」をテーマに議会改革を進め
ております。住民の皆様のご意見を
お聞きし、議員全員で一丸となり、
川島町の発展、町民福祉向上のため
粉骨砕身努力をしていきたいと思
います。

町民の皆様におかれましても、議
会に対して、ご支援、ご指導を賜り
ますようお願い申し上げます。
本年も皆様にとりまして、幸多い、
一年となりますよう、ご祈念申し上
げまして年初のあいさつといたしま
す。



謹んで新春の
お祝詞を申し
上げます

〔前列右から〕
小高 春雄 議員

飯野 徹也 議員

尾崎 宗良 議員

菊地 敏昭 議員

木村 晃夫 議員

土屋 祥吉 議員

鈴木 久雄 議長

石川 征郎 議員

吉田 豊子 議員

佐藤 芳男 議員

中西 義一 議員

森田 敏男 議員

大島 欣一 議員

爲水 順二 議員

山田 敏夫 議員

平成22年 12月定例会議案審議結果

議案番号	議案内容	採決結果
議案第62号	第5次川島町総合振興計画基本構想を定めることについて 新・川島町総合振興計画基本構想が平成22年度末をもって計画期間終了となるため第5次川島町総合振興計画基本構想を定めるものです。	賛成多数 原案可決
議案第63号	町長及び副町長の給与等に関する条例及び川島町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 町長および副町長並びに教育長の期末手当の額を減額するものです。	全員賛成 原案可決
議案第64号	川島町一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて 人事院勧告及び埼玉県人事委員会の勧告を踏まえ、一般職員の給与等を減額をするものです。	賛成多数 原案可決
議案第65号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について 蓮田市及び蓮田白岡町衛生組合の名称変更に伴い、埼玉県市町村総合事務組合規約別表を整備するものです。	全員賛成 原案可決
議案第66号	財産の処分について 上大屋敷字土橋850番地2外171筆を国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所に売却するものです。	全員賛成 原案可決
議案第67号	平成22年度川島町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算にそれぞれ3,413万9千円を追加し、総額を65億2,067万3千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第68号	平成22年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算にそれぞれ7,282万7千円を追加し、総額を22億8,775万8千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第69号	平成22年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第2号） 総務管理費29万8千円を予備費へ付け替えるものです。	全員賛成 原案可決
議案第70号	平成22年度川島町介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算にそれぞれ46万5千円を追加し、総額を12億5,711万1千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第71号	平成22年度川島町水道事業会計補正予算（第2号） 収益的支出を60万6千円減額し5,619万4千円に資本的支出を6万6千円減額し9,254万4千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第72号	町道路線の廃止について（町道2357号線） 町道2357号線について有償譲渡に伴い廃止するものです。	全員賛成 原案可決
議案第2号	川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 議会議員の期末手当の額を減額するものです。	全員賛成 原案可決

町の未来を見つめ総合振興計画定める

●第5次川島町総合振興計画基本構想を定めることについて

問 第5次総合振興計画は、10年単位で平成23年から10年間でありますがこの期間を定める基準はあるのか。

答 地方自治法で特に期間は定めがないが、過去の経緯、近隣市町村など10年がひとつの区切りです。しかし、その状況が変わった場合、その一部を見直すこともあります。

問 土地利用構想で、物流・工業系地域、商業系地域、インター周辺関連開発地域があるが、利用形態の違いについて聞きたい。

答 物流・工業系地域は物流・工業系が設置、移転できる地域で、商業系地域は小売業中心と中規模店舗などを予定、インター周辺関連開発地域は物流・工業、大規模店舗など自由な利用が可能な地域としています。

問 前の構想にない、娯楽施設や買い物施設などの商業施設誘致推進という言葉があるが、どの様な街並みをつくるのか。

答 町民アンケート・若者の意見などに、映画館や大型店がなく町に欲しいとの意見もあり、今後、定住促進を進めるため必要との考えから計画に入れました。

問 鉄道交通の文言が入っていない理由は。

答 鉄道は民間運営となり、採算性がないと新規な敷設は行わない

状況です。現実的な観点から文言は除きました。

●平成22年度川島町一般会計補正予算（第2号）

問 庁舎建設及び整備基金の利子積立金追加51万4千円を補正し、積立額の合計はどのくらいになるのか。

答 庁舎建設基本構想の中では、場所、形態などを協議しており、建設金額は基本計画が出来ないと分かりません。積立額は、年度末では8億6千2百万円あり、今後5千万円づつ積立ての予定をしています。

●平成22年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）

問 現在、本下水に未接続の21件の取り出し管工事に町の助成はあるのか。

答 私道の取り出しは、関係各世帯からの接続申請時に3年以内の接続する誓約書いただき町で工事をします。

また、供用開始時に宅地で設置していない箇所は、接続申請にあわせて、町で取り出し管の工事をします。

●平成22年度川島町水道事業会計補正予算（第2号）

問 水道の圧力を上げているのか。

答 前と同じです。県水の受水以降平沼浄水場からの配水量が多いので、末端の水圧が上がっているのかも知れません。



進む産業団地開発



築55年(昭和31年)の役場庁舎

インフルエンザワクチン接種費追加

●平成22年度川島町一般会計補正予算(第2号)について

問 予防費のインフルエンザワクチンの接種の医師委託料追加の内訳は。

答 非課税世帯2560人が対象で、そのうち、65歳以上が1160人です。65歳以上の方が50%、65歳未満の方が30%の接種率を見込んでいます。当町の場合、比企医師会との契約で接種費用は46

00円となっています。

問 民生費の子ども支援医療費給付金追加については。

答 中学生の通院医療費はあまり見込んでいなかったが、小学生と同程度の医療費となっております。不足する金額を追加するものです。

問 虐待問題について、町は十分に情報収集しているのか。

答 要保護児童対策協議会を設置し、ケース会議等を行っています。また、民生委員・児童委員が各小

中学校と情報交換をしています。個別のケースでは、川越児童相談所等と連携して対応しています。

問 いじめについての対応は。

答 校長、教頭会議で体育の時間などでのアザなどの確認、休み時間の行動も見る等指示しています。

●平成22年度川島町国民健康保険特別会計

問 国民健康保険を都道府県単位でやるべきとの声があるが。

答 厚生労働省は、都道府県単位

で統一保険料方式を採用し、市町村国保を全年齢で都道府県単位化する時期を平成23年の通常国会に提出の方針が示されました。新制度に具体的な負担水準や財源が示されていないなどを理由に反対意見もあります。新制度になった場合、現在、所得割、資産割、均等割、平等割の4種類の課税方式が、所得割と均等割の2種類の課税方式となる見込みです。

●第5次川島町総合振興計画基本構想を定めることについて

問 定住人口の減少緩和、計画をどの辺まで見通しているのか。

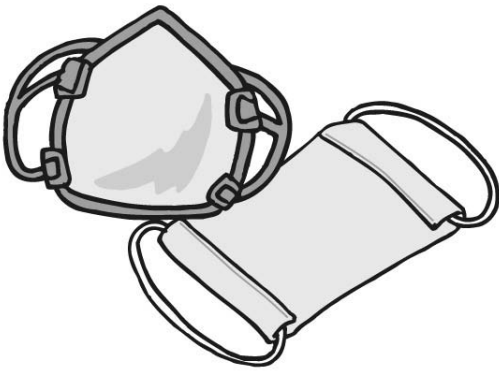
答 重点的に進めるリーディングプロジェクトを設け、「定住促進、転入促進、生活基盤充実」の3本柱を定め、「定住促進プロジェクト」では、子育て支援事業として保育時間の延長や児童館の建設、

「転入促進プロジェクト」では、「農地バンク制度を活用した農地の有効活用、関係機関との連携によ



外壁工事が終了した「けやき保育園」

る生産組織の法人化、新規就農者等に対する農家住宅の空き家バンク制度の活用、「生活基盤充実プロジェクト」では交通弱者対策としてのデマンド交通等の新しい交通システム確立、住宅介護の充実等を考えております。



議員定数を

16名から14名に

平成23年2月臨時議会が2月15日に開催され、2議案が審議されました。

主な内容は次の通りです。

●議案第1号 平成22年度川島町一般会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算にそれぞれ1億1,573万4千円を追加し、66億3,640万7千円とするものです。

歳入の主なものは地方交付税3,592万4千円、国庫補助金5,475万1千円、基金繰入金2,505万9千円です。歳出の主なものは、道路橋梁費2,790万円、教育費8,783万4千円です。

（全員賛成・可決）

●議提第1号 川島町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて

川島町議会では、議員定数調査検討委員会を設置、協議し、議員全員協議会で図り、議員提案としました。厳しい社会経済情勢や行財政改革の観点から、議会改革と

して議会組織のスリム化を図るため、議員定数を16名から14名に改正するものです。

この条例は、交付の日から施行され、この条例の施行の日以後、初めて期日告示される一般選挙から適用されます。

（賛成多数・可決）



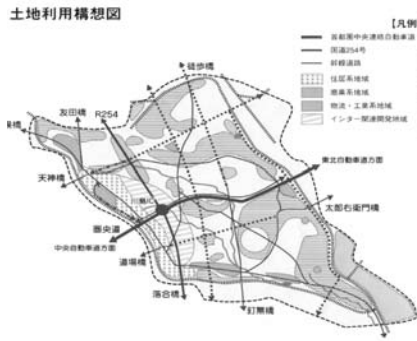
いっぱん質問

町の考えを問う

町政一般質問要旨

<p>飯野 徹也 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5次町総合振興計画について ・町内の22年度産米の状況と対策について 	<p>為水 順二 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用問題について ・予算編成について 	<p>石川 征郎 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道整備について ・中山公民館について 	<p>道祖土 証 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町のごみ処理焼却施設について ・当町の農業支援について 	<p>佐藤 芳男 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの運営について ・土地利用計画商業地域について ・公共交通機関の充実について 	<p>大島 欣一 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の10年後の農業振興と農地保全について 	<p>菊地 敏昭 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信について 	<p>吉田 豊子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立小・中学校の普通教室冷房設備設置について
--	---	--	---	--	--	--	--

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。



5次総振の土地利用図

問 第5次川島町総合振興計画について。23年度から10年間の指針となる第5次川島町総合振興計画の、リーダーディングプロジェクト（最重要施策）について、基本となる考え、位置づけ、具体的な実施計画とその概要、進行管理計画について、10年、20年後の推定人口、高齢化率について。進行管理計画の手法や手順について。

答 リーディングプロジェクト（最重要施策）とは、予想される人口減少と高齢化に対して重点的に取り組むべき施策です。定住促進・交流転入促進・生活基盤充実という3本の柱を設定し、魅力ある町づくりを目指すものです。

問 町内の、22年度産米の収穫状況とその対策について。

答 埼玉県は酷暑による「彩のかがやき」を中心とした収量、品質被害に対し、農業災害特別措置条例に基づき助成を決めました。当町における被害の状況、県の助成の詳細、町の対策について。また、要件の緩和についてお聞きします。

問 県の条例に基づき特別災害の指定を受け、10アール当たり6540円の補助金を交付いたします。交付要件の緩和は今後の検討課題として考えます。



答

問

「総振」のリーダーディングプロジェクトとは
今後10年間の町が
取り組む最重要施策です

飯野徹也

バンク・空き家バンク施策、環境保全条例などについて具体的な問題点についてお聞きします。

「雇用対策」について

問 就職難やリストラ・再雇用に対して全国的に雇用問題がとり沙汰されている中、当町では産業団地の開発により、全体で2千人程の雇用が見込まれ23年度以降の短期間で集中した雇用が生まれると伺っている。

答 他市町村とは違う、町民の求職と募集のニーズに合った斡旋等、行える雇用窓口の整備が行政の役割として考えられるが。

問 雇用対策として広報やホームページに雇用情報を掲載しており、今後も企業との情報交換を深め、ハローワークとも連携をとり、いち早く

町民のニーズに合った
新たな雇用窓口の設置を

雇用情報を多く
発信していきたい

二 順 水 為



揭示できるよう取り組んで参ります。「来年度予算編成」について

問 事業の縮小や統合・廃止といった仕分けを強化するため「行政評価制度」を取り入れていただきたい。

答 調査検討して、24年度以降に導入していきたいと考えています。

問 学校給食への補助金として、今年度150万円（当初500万円）が一般会計から繰り出されており、来年度も維持または増額をお願いしたい。また、値上げした給食費を元に戻す考えはないか伺います。

答 当初500万円については消費税率の引き上げによる手当てという経緯があり来年度以降の繰り出し等は考えておりませんが、給食費に関しても元に戻す考えは今のところありません。しかし、今後の食料や消費税の値上げにより運営が困難になった場合は検討いたします。



整備がまたれる町道3052号線



問

町道3052号線の

整備状況は

答

整備に向けて両市町で

協議を継続

石川 征郎

問 町道3052号線の、整備について、その状況を伺います。

答 町道3052号線は、八幡工業団地から川島インターチェンジへの、アクセスの向上や沿線地域の土地利用に大きなメリットがある道路であると考えています。

問 国、県、関係企業及び坂戸市に対して事業概要の説明をし、協議を進めている状況です。

答 坂戸市との協議はどの様な状況になっているのか伺います。

答 土地の有効活用による、企業誘致なども、町の財源確保といった点から、この道路整備は重要と考えております。坂戸市とも協議を重ねており、坂戸市も、飛び地で住宅地の中に工場があることにより、生活道路を大型車輛が通行し、住民の生活に支障をきたしていることは認識しておりますので、今後も事業の推進に向けて、関係各部署と協議をしていきたいと回答をいただいております。

問 整備予定についてはどの様になっているのか伺います。

答 本路線につきましては、八幡団地から越辺川堤防沿いを通り、圏央道側道から国道254号を結ぶ町の重要幹線と位置づけています。今後、関係地区の地元説明会、路線測量、物件調査及び、関係機関との協議を重ねていき、坂戸市との協議が具体的にいった段階では、早期に事業に着手できるように事業の環境整備をしたいと考えています。

問 9月議会後の埼玉中部環境保全組合（以下中部環境）への対応は。

答 中部環境組合議会が10月22日に開催され、新たな枠組みが決定されるとの情報を得ましたので、枠組みが決定後の取り下げは混乱をきたすと考えられましたので、10月8日付にて、新施設整備計画への参加の取り下げの文書を提出させていただきました。

問 川越市とのごみ焼却施設への対応は。

答 10月18日に川越市長を訪問し、両市町の幹部職員同席のもと、川越市との行政事務処理の広域化の申し

中部環境には理解を得られたか

問

得られたと理解しています

答

いさむ 証
さ い ど
道 祖 土



川島町環境センター

入れについての要望書を提出し、その中でごみ処理広域化についても提出させていただきました。

問 取下げ前に議員に話すべきでは。

答 9月22日の全員協議会でそうしたものを提出させて頂きたいと報告しました。

問 取下げについて中部環境の管理者新井吉見町長の理解は得られたか。

答 理解頂いたと、私は理解していません。

問 4月の全員協議会、6月定例会で、私は川越市に相談すべきではと言いましたが、町長は川越市には相談できないと答弁されましたが、なぜ川越市に申し入れたのか。

答 県道上尾・川越線の総会の後の話し合いの中で、いろいろ話し合いを持つとうという事の中から、話が進んできたわけです。ご理解をいただきたいと思っています。



待たれる国道沿道商業開発

問 学校給食センター民間委託調査研究の進行状況は。

答 11月25日に給食センター運営委員会より協議結果の報告が教育委員会に提出されました。今後教育委員会で協議が行われ、報告書を提出の予定です。

問 食材の急激な価格変動に対処するには、給食特別会計支払基金の活用が有効と思うが。

答 当条例は廃止を考慮しており、緊急的な不足が生じた場合、一般会計



答

産業団地開発を優先しました

問

国道沿商業地開発の現状は

佐藤 芳男

問 今年度終了の第4次川島町総合振興計画の中の国道254沿道商業地開発が未達成だが。

答 インターチェンジ周辺の開発を最優先しました。第5次総合振興計画においては住民の定住促進、転入促進、生活基盤充実の為に外食店舗、娯楽施設の誘致などが必要であり、整備に向け取り組みを進めます。

問 高齢者の移動手段、若者の定住の転入促進には、公共交通機関の充実が必要と思うが、利便性向上には各交通手段の中心としてバスターミナルも必要と思うが。

答 産業団地の従業員の増加が見込めるので、路線バス事業者と協議を進めます。

子どもや高齢者などの交通弱者の為に巡回バスの見直しや、新たなデマンド交通など実施に向けて検討します。

又、圏央道全線開通後には高速バス利用についても検討したい。



問

川島町の十年後の農業振興と農地保全について

答

家族農業からの意識改革が必要

おしま きん いち
大 島 欣 一

問 第5次総合振興計画の中で農業振興は農地集積、耕作放棄地問題、経営の合理化、安全な食、有機農業の推進、農業後継者の育成など、またT P P参加問題など課題が山積しています。時代に対応した思い切った改革や活性化が急務です。本町の専業農家は昭和40年の439戸から190戸、また第一種兼業農家も1457戸から1/8以下の173戸となり歯止めはかかっていません。しかし集落公社を含む農地の集積は進んでいません。昨年、農地法が改正され耕作主義が排除され所有から利用へ抜本的転換がなされれば

答 人材育成、意識改革が必要です。本町の新規就農5人の目標(第4次)のところ3名です。T P Pの問題もあり農地の集積は大きな課題です。一方、集積が進まない点は、歴史の中で家族農業でやってきた経緯から農地を手放す、人に貸すという意識がなかなか出来ない。その意識改革が必要、その上で集積を図り後継者の育成を図る必要がある。又、町で生産ハウスを作り例えば3年くらい無償で、貸付実習をし、後継者の育成を図るなど、また30ヘクタール一団地で複合経営で経費のかからない農業の推進も必要です。今後農家の方にも研修等を行い人材育成意識改革を進めていきたい。



新総合振興計画による農業振興



町の情報発信は

答 ダイヤルイン・地図・ポスター
情報を周知徹底します

菊地敏昭

問 平成20年3月に圏央道川島ICが供用開始となり、産業団地も5社が操業を開始、雇用も町内400人の方が就労されたと聞いています。来年には4社が操業予定だそうですが、企業誘致によって得られる地域経済への波及効果としては、関連事業などによる地域経済の活性化、雇用機会の確保拡大、税収増加などが考えられます。交通、通信、電気、都市機能産業発展に欠かせないインフラ整備が整いつつあります。交通

網の発達により時間的距離が縮まり、町と町が近くなり経済圏も変わってきています。町も住民や企業に対して情報提供と情報収集が必然的に重要になると思います。町の情報発信について伺います。

答 広報かわじまは7600部印刷し印刷代は242万4400円です。

問 21年12月議会の一般質問でダイヤルイン方式の整備計画を聞かせていただきました。22年9月導入され、便利になりました。町民への周知と職員の対応、利用の状況は、又今後については。

答 直接担当課に電話できるダイヤルイン方式について、7月号の広報で周知すると共に、全世帯へ番号一覧表を配布、封筒へもゴム印を使い押印するなど周知を図っています。ダイヤルイン導入後は、交換での対応数は46%ほど減しています。即、交換業務の廃止は難しいが、現在交換業務で400万円程度の費用です。



情報発信ツール

問 私は川島の宝である子どもたちに快適な教育環境の中で勉学に励んでいただくために、クーラーの設置が必要と考えています。

平成20年11月に西中PTAよりクーラー設置要望の請願書が提出され、議会では採択されましたが、その後の町の対応について伺います。

答 予算状況を見ながらその機会を検討しておりました。今後とも川島の宝である子どもたちの教育環境の改善に積極的に取り組む考えです。

冷房設備は23年度重点事業として全小中学校普通教室へ整備する予定で準備をしております。

小中学校クーラー設置は

夏に使用できるよう準備を進めている

吉田豊子

問 埼玉県内の普通教室のクーラー設置状況は。

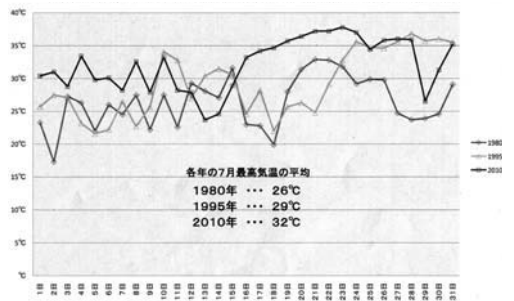
答 高い整備率の自治体は、さいたま市94・6%飯能市92・1%戸田市100%和光市100%の4自治体です。

飯能市の場合は防衛施設庁関連の防音空調事業で整備したものです。その他は政策的意向により早期に整備したものです。

問 比較的整備の進んでいる自治体は3団体ありますが、狭山市41・7%、鶴ヶ島市43・8%、越生町31・4%で、その他の市町村では整備率がほとんど0%という状況です。

答 23年度実施ということですが夏に使用できますか。設置箇所、予算

答 設置台数の合計80台からで、概算で7000万円強の工事費になるかと思えます。



7月の最高気温の比較
<1980年,1995年,2010年> 地点: 埼玉県鳩山

議会運営委員会所管事務調査

1. 調査期間
平成22年10月21日～22日
2. 視察地
香川県宇多津町 高知県の町
3. 視察課題
①議会運営について ②議会活性化について

香川県の西部にある宇多津町は、瀬戸大橋の四国の玄関口に位置し、人口1万8千100人の町で、議会は議員数10人、委員会は常任委員会3、特別委員会1で構成されています。

更に、議長の諮問機関として、議会政治倫理委員会を置き、議員の品位と名誉を損なうような行為を慎み、政治的、道義的批判を受けたときはそれを解明し、その責任を明らかにすることとしています。

また、「議会基本条例」を制定し、町民に開かれた議会、町民参加を推進する議会を目指して「議会報告会」「休日議会」「子ども議会」町民にわかりやすい議論にするため「一問一答方式を導入」

しており、それらの評価アンケートでは、情報公開が「開かれている56%」議会への期待度では、「期待している81%」と素晴らしい内容でした。

次に、高知県の町ですが県の中央部に位置し平成16年10月に1町2村が合併した人口2万6千400人で、議員数は22人、4常任委員会と5特別委員会が構成されています。

議会案内の表示を役場庁舎の玄関に設置して、そのポケットに日程、発言通告の印刷物を入れ町民が自由に取れるようにしていました。また、平成26年を目途に庁舎を建設し、ライブカメラによるインターネット配信も考えているとのことでした。



宇多津町議会議場

今回の視察研修では、議会基本条例の制定により様々な議会の活動、情報公開、議会案内等、真剣に取り組んで町民から期待されている状況を研修しました。川島町議会としても、これらを参考とさせて頂き議会の活性化、期待される議会づくりに取り組んでまいります。

新副議長決まる

平成22年12月議会定例会において、道祖土証前副議長の副議長辞任により、新たに吉田豊子氏が副議長に選任されました。



吉田 豊子氏

議会を傍聴しましょう!

- 誰でも議会を傍聴することができます。
 - 議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。
- ⇒ 詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

「川島町議会だより」に対する感想や、ご意見・ご要望がありましたら議会事務局までご連絡ください。

議 会 日 誌

11月

- 3日 川島町生涯学習町民ふれあいフェスティバル
- 4日 総務経済建設常任委員会協議会
議会運営委員会協議会
議員全員協議会
- 9~10日 議員クラブ研修会
- 14日 かわじま音楽祭
- 18日 議員全員協議会
- 19日 川島中学校統合50周年記念式典及び記念祝賀会
- 21日 消防特別点検
- 23日 第25回川島町農業商工祭
- 24日 大里比企広域農業整備事業推進協議会先進地視察
- 25日 議会運営委員会
議員定数検討委員会
- 28日 第25回川島町駅伝競走大会

12月

- 30~7日 12月定例会
- 5日 関東中学校駅伝大会
- 7日 議員全員協議会
- 17日 議員定数調査検討委員会

1月

- 4日 仕事始め
- 8日 消防出初式
- 9日 成人式
- 13日 県と町村議長会との新年懇談会
- 14日 議員定数検討委員会
- 27日 議会報編集委員会

2月

- 3日 比企郡町村議会議長会議員研修会
- 8日 議員定数検討委員会
議員全員協議会
議会報編集委員会
- 10日 議会運営委員会
- 15日 2月臨時会

比企郡町村議会議長会議員研修

平成22年度比企郡町村議会議長会議員研修会が2月3日、吉見町民会館「フレサよしみ」で開催され、専修大学法学部教授小林和宏氏による「町村議会の機能強化について」を演題に講演がありました。主な内容は、

- 1、町村議会をとりまく環境の変化
- 2、地方分権と今日の町村の役割の変化
- 3、町村が直面する主要課題と方向性
- 4、今後の町村議会の機能強化の方向性
- 5、これからの議会・議員のあるべき姿

以上の5点に焦点を絞り、いずれも実情を交えた講演でした。地域社会や住民ニーズの多様化、地方自治への関心の増大、厳しい財政状況の中で、議員に求められる説明能力の向上や、行政の改革の中で、

「住民とは誰か」「地域とは何か」「自治の役割とは何か」といった内容をお話いただきました。今後、町村議会の機能強化の方向性として、住民に分かりやすい議会運営の工夫や諮問機関、専門スタッフの充実、議会審議の活性化、政策討議の場としての議会、情報公開について様々な考えがある中で、住民の皆様と意見交換を通し、進めていくことも必要だと考えました。

3月の定例会は
3月2日(水)
開催予定です。

表紙解説

新年を迎え各地区で公民館主催の「歩け走ろう大会」が開催されました。年末年始と天候に恵まれ、伊草地区では1月8日に行われ、晴天であったものの、早朝の温度計の表示はマイナス3度でした。その寒さにもかかわらず、スポーツ少年団の各チームや町民の多くの方が歩け走ろうに参加され、子どもたちは元気に走っており、私も歩く爽快感を改めて実感しました。歩くことは健康に良いとされています。日頃の運動不足の解消に皆様もウォーキングを始めてみては。正月太りにも効果があるかも。(写真・文章/爲水)

編集後記

平成23年元旦のオレンジ色の御来光と富士山が真っ白な雪化粧した姿を拝むことが、自宅の庭先でできました。真つ青な空に飛行機雲が3本くつきりと目に焼きつきました。昨年は天候異変の猛暑に影響を受け農作物や人体にまで悪い状況でした。彩のかがやきなどが被害を受け、総務経済建設常任委員会を開会し町と協議をし、県と合わせ助成金を補正しました。卯は方角で東を指します。東の国日本。「卯の刻」は午前6時頃。卯は日本の夜明けを示唆しています。2011年の日本、川島町が明るい話題の多い年でありませう、ご祈念申し上げます。なお、議会報編集委員会では道祖土証委員長の辞任により委員長に吉田豊子議員、副委員長に土屋祥吉議員が選任されました。(菊地)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 吉田 豊子 |
| 副委員長 | 土屋 祥吉 |
| 委員 | 菊地 敏昭 |
| 委員 | 佐藤 芳男 |
| 委員 | 森田 敏男 |
| 委員 | 爲木 順二 |
| 委員 | 鈴木 久雄 |

お問い合わせ 議会事務局
TEL 049-299-1759 (直通) / FAX 049-297-9346
E-mail: kawajima-gikai@gamma.ocn.ne.jp